

第5回拡大豚コレラ疫学調査チーム検討会の結果概要

岐阜県等での豚コレラに係る疫学調査の概要が公表されました

1 海外からの感染経路

- ・国内で分離されたウイルスは、遺伝子検査の結果から、極めて類似しており、野生イノシシが1例目農場のいずれかから伝播したと推定される
- ・輸入検疫を受けない旅客の手荷物等によって国内に持ち込まれたウイルスがゴミとして廃棄された食品を介し、野生イノシシに感染した可能性

2 農場への感染経路

- ・イノシシ等野生動物が衛生管理区域内の豚と接触可能だった事例
- ・衛生管理区域に立ち入る際の車両消毒が不十分だった事例
- ・豚舎ごとに専用長靴や防護服等が使用されていなかった事例
- ・手押し車など管理器具が十分消毒されずに行き来していた事例
- ・豚を移動する通路を事前に洗浄、消毒せずに移動させていた事例

○今後の対策

1 発生予防対策

- (1) 毎日の健康観察による早期発見と早期通報
神経症状、死亡、発熱、元気消失、食欲減退、流死産や結膜炎
- (2) 感染リスクがある地域の農場から豚を導入する場合の対策の徹底
ウイルス侵入から発症まで経過が長い可能性があり、予防対策が重要
- (3) 適切な洗浄・消毒の履行
農場や豚舎の出入り口付近や周辺の消毒
農場に出入りする車両の洗浄・消毒
豚舎外で使用した管理器具は洗浄・消毒してから使用
豚舎ごとの長靴や防護服の着用
- (4) 農場内での豚の移動時の対策
消毒可能な移動用ケージの利用

2 発生拡大防止対策

- ・と畜場等の畜産関係施設での交差汚染により感染するリスクがあることから、消毒等の交差汚染防止対策の強化が必要